

認知症の人が安心して暮らせるまち・東京を目指して

認知症に寄り添う

～介護と医療の連携で穏やかな日常を支援～

高齢者の多くの方々は、たとえ認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けていくことを望んでいます。しかし、そのためには、治療を担う医療と暮らしを支える介護が連携していくことが求められます。

そこで、「認知症に寄り添う～介護と医療の連携で穏やかな日常を支援～」と題してシンポジウムを開催します。

基調講演として、東京都健康長寿医療センターの井藤佳恵先生に「認知症の理解と治療の最前線」についてご講演いただくとともに、認知症の方の生活を支えている方々をお招きしてパネルディスカッションを行い、認知症の人をどう支えていくかについて考えていきます。

なお、本シンポジウムは、「世界アルツハイマーデー」を記念して開催するものです。

日時 平成 **22** 年 **9** 月 **22** 日 **水** **13:30** ～ **17:00**

場所 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場 **定員** **550** 名

テーマ「認知症に寄り添う～介護と医療の連携で穏やかな日常を支援～」

第1部 基調講演 「認知症の理解と治療の最前線」

井藤 佳恵 氏 東京都健康長寿医療センター医師

第2部 報告とパネルディスカッション「認知症の人の暮らしを支える」

1: 報告

来島 みのり 氏 ((社福)マザアス小規模多機能ホームみなみだいら管理者)

仙波 京子 氏 (認知症の人の家族)

八幡 憲喜 氏 (南平山の上クリニック院長)

2: パネルディスカッション

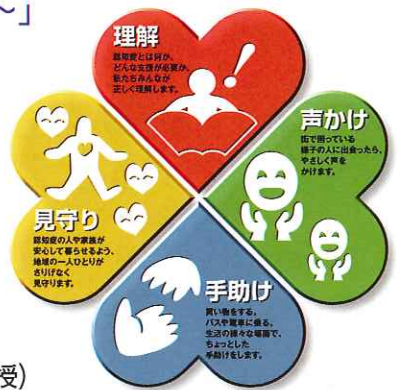
コーディネーター 下垣 光 氏 (日本社会事業大学社会福祉学部准教授)

パネリスト 井藤 佳恵 氏 (東京都健康長寿医療センター医師)

来島 みのり 氏 ((社福)マザアス小規模多機能ホームみなみだいら管理者)

仙波 京子 氏 (認知症の人の家族)

八幡 憲喜 氏 (南平山の上クリニック院長)



都庁への交通案内

最寄り駅

- JR「新宿駅」西口から徒歩10分
- 都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」下車すぐ
- 新宿駅西口(地下バスのりば)から
都営バスまたは京王バス
(都庁循環)「都庁第一本庁舎」下車すぐ

お申込み先

認知症シンポジウム事務局

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-39-7 7 階

TEL: 03-3943-4312
FAX: 03-3943-4322

傍聴を希望する方は**9月10日(金)**までに、往復はがきかFAXに、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記のうえ、上記申込先までお送りください。なお、応募多数の場合は抽選となります。

ふりがな 氏名			住所		
			電話番号		
年齢		職業	FAX番号		

※個人情報は適正に管理し、本シンポジウム以外では使用いたしません。

○内容に関するお問合せ先 … 福祉保健局 高齢社会対策部 在宅支援課 ☎ **03-5320-4276** (直通)

東京都福祉保健局

